

地球温暖化対策実施状況報告書

平成23年 7月 20日

（報告先）
横浜市長

住所 神奈川県横浜市中区尾上町
6丁目84番地

氏名 株式会社 日新
代表取締役社長 筒井 雅洋

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社 日新 （代表取締役社長 筒井 雅洋）			
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県横浜市中区尾上町6丁目84番地			
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業		
	中分類	4 8 運輸に附帯するサービス業		
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）		
	原油換算エネルギー使用量	2,276 kl	自動車の台数	台

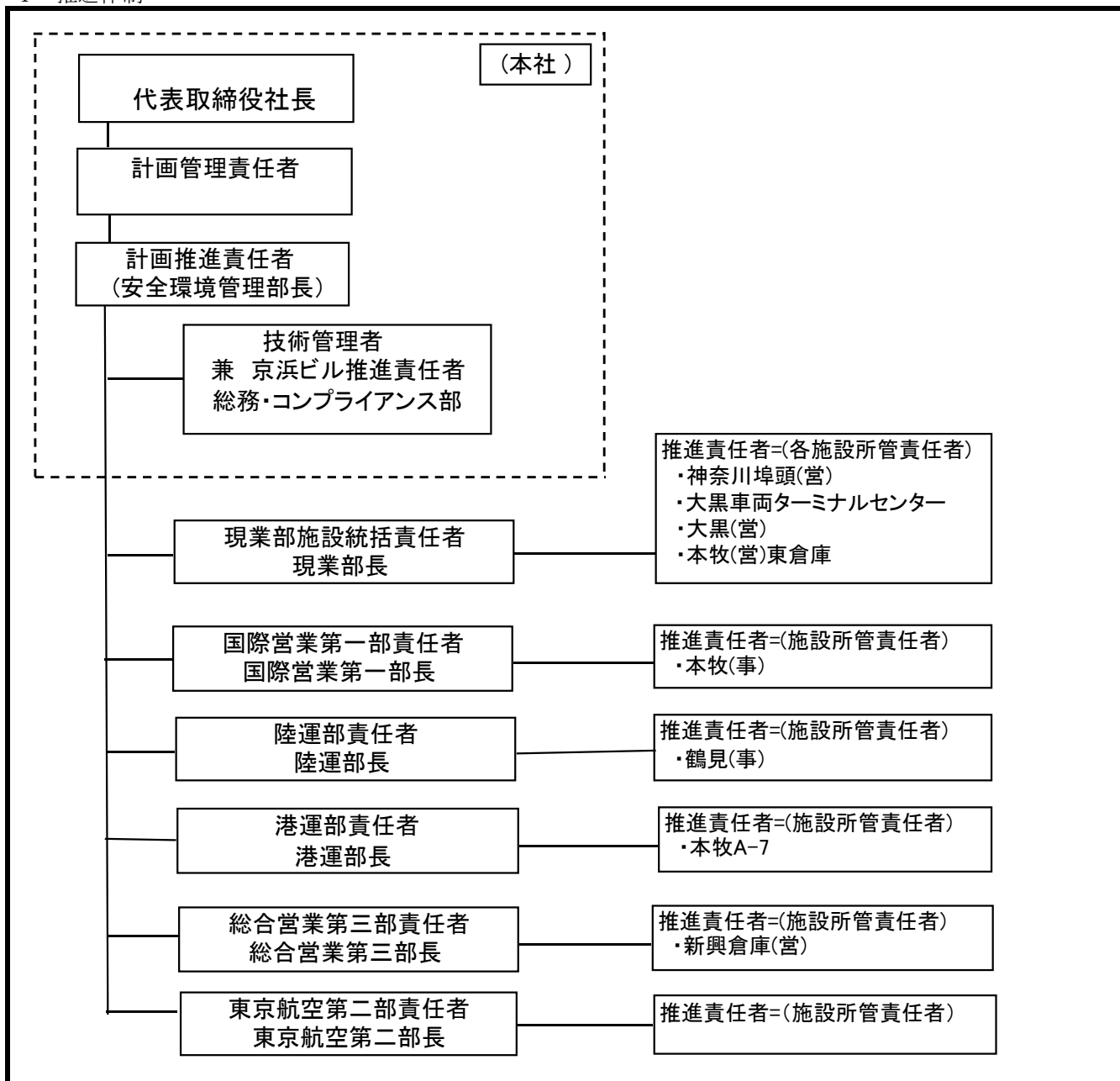
2 計画期間及び実施年度

計画期間	平成22年度～平成24年度	実施年度	平成22年度
------	---------------	------	--------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

市中における事業活動に係る主要なエネルギー使用設備に関する情報を整理し、エネルギー使用の合理化の観点から設備更新の方向性を検討する。 平成23年度中に、冷蔵倉庫営業所の冷却設備を順次更新予定。 また、事務所ビル内のサーバーの県外移設、冷蔵倉庫営業所にオンデマンド監視装置の設置を予定。
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	hppt://www.nissin-tw.co.jp/
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （平成21年度年度）	基準排出量	3,758 t-CO ₂			基準原単位	11.78 t-CO ₂ /	
	調整後	3,069 t-CO ₂			目標原単位	11.66 t-CO ₂ /	
目標年度 （平成24年度）	目標排出量	3,720 t-CO ₂	削減率	1.0 %	削減率	1.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	目標設定した24年度までに、冷蔵倉庫営業所の冷却設備を順次更新（平成23年度中に更新予定）することから見込んだものである。						
事業者全体としての目標等	特定温室効果ガス（エネルギー使用に伴って排出される二酸化炭素）に関する当社全体の目標はなし。						
第一年度 （平成22年度）	排出量	3,896 t-CO ₂	削減率	▲ 3.7 %	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	3,133 t-CO ₂	削減率	▲ 2.1 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	昨年12月15日より冷蔵倉庫が本牧地区に新設。新設分の増加排出量は143t-CO ₂ であった。平成23年3月に事務所ビル内のサーバーの一部を県外へ移設。来年度（平成23年度）以降に排出量軽減の見込み。						
第二年度 （年度）	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
第三年度 （年度）	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
計画期間全体の排出状況に関する説明							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量	t-CO ₂			基準原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方							
事業者全体としての目標等							
第一年度 （年度）	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
第二年度 （年度）	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
第三年度 （年度）	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明							
計画期間全体の排出状況に関する説明							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	0	0	0	0				
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0	0	0	0				
500k l 以上 1,500k l 未満	1	1,458	1	1,415				
500k l 未満	9	2,300	10	2,481				
合計	10	3,758	11	3,896				

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	%		%		%		%	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9 重点対策の実施状況

		基準年度	第一年度	第二年度	第三年度	備考	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	実施中	実施済			平成22年度に実施。 11事業所
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	実施中	実施中			平成23年度中に整備予定
	3	機器管理台帳の整備	未実施	未実施			平成23年度中に整備予定
	4	照明設備の運用管理	未実施	未実施			平成23年度中に整備予定
	5	エネルギー使用量の把握	実施中	実施中			平成23年度中に実施予定
	6	各種図面の整備	非該当	非該当			蒸気、圧縮空気は未使用
	7	外気導入量の適正管理	未実施	非該当			空気環境測定対象外
	8	フィルター等の清掃	実施中	実施中			平成23年度中に実施予定
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	非該当	非該当			冷却器は空冷式
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	未実施	未実施			平成23年度中に実施予定
	11	室内温度の適正管理	実施中	実施中			平成23年度中に実施予定
	12	地下駐車場の換気管理	非該当	非該当			地下駐車場はなし
	13	照明設備の高効率化	実施中	実施中			平成23年度中に整備予定
	14	事務所機器の待機電力管理	実施中	実施中			平成23年度中に整備予定
	15	機器性能管理	未実施	未実施			平成23年度中に実施予定
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	非該当	非該当			空冷式のため管理不要
	17	燃焼設備の空気比管理	非該当	非該当			燃焼設備なし
	18	排出ガス温度の管理	非該当	非該当			ボイラーなし
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	非該当	非該当			ボイラーなし
	20	工業炉表面の断熱強化	非該当	非該当			工業炉なし
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	非該当	非該当			コンプレッサなし
	22	コンプレッサの吸気管理	非該当	非該当			コンプレッサなし
第3号該当事業者	23	推進体制の整備					
	24	自動車の適正な使用管理					
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理					
	26	エコドライブ推進体制の整備					
	27	自動車の適正な維持管理					

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	特に無し			
2				
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成22年度	市内の全施設	763t-CO2	東京電力
2					
3					
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	市内の10施設のうち6ヶ所で環境ISO(1ヶ所)並びにグリーン経営認証(5ヶ所)を取得しており、廃棄物の排出量の把握及び削減等に努めている。
計画期間内に実施する対策	環境ISO並びにグリーン経営認証に即した活動の維持・継続。
第一年度実績	グリーン経営認証取得施設にて更新審査(1ヶ所)、定期審査(4ヶ所)を完了し引き続き当該認証に即した活動を維持。
第二年度実績	
第三年度実績	

13 実施状況等に対する自己評価

<p>昨年12月に新設された冷蔵倉庫以外の10施設のうち、7箇所にて排出量が削減となった。各施設の省エネに対する意識の向上が要因と思われる。 また、一部システムサーバーを県外に移設した施設においては、電気使用量が平成22年の同月(4, 5, 6月)比で約20%削減となっている。今年7月にも一部サーバーを県外へ移設予定であり、来年度(平成23年度)は更なる削減が見込まれる。</p>

地球温暖化対策実施状況報告書

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大黒埠頭倉庫営業所			
事業所等の所在地	横浜市鶴見区大黒埠頭6番地			
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	14,325 m ²	原油換算エネルギー使用量	870 kl
	事業所等の区分	倉庫	所有形態	所有（オーナー）
	エネルギー管理権原	全て有り	使用形態	全て使用
	特に無し			

2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

平成23年度中に、当該営業所の冷却設備を順次更新し、基準排出原単位(243.00t-CO2/人)の1%削減を目標とする。平成22年度の当該営業所の排出量は1,415t-CO2となり基準年度の数値(1,458 t-CO2)を下回った。また、排出原単位も202.14t-CO2/人となった。
現在、当該営業所は市内で唯一原油換算エネルギー使用量が500kl以上で、排出抑制対策の重点箇所であるため、冷却設備の更新、オンデマンド監視装置の設置を平成23年度中に計画中。

3 推進体制

推進責任者
(施設所管管理者) --- 推進責任者補佐
(副所長)

細則第38号様式（第2条第49号）
（個別票）

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (平成21年度)	基準排出量	1,458 t-CO ₂			基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度 (平成24年度)	目標排出量	t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	t-CO ₂ /
						削減率
排出の抑制に係る目標の設定の考え方						
事業者全体としての目標等						
第一年度 (平成22年度)	排出量	1,415 t-CO ₂	削減率	2.9 %	排出原単位	t-CO ₂ /
目標等の達成状況及び説明						
第二年度 (平成23年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /
目標等の達成状況及び説明						
第三年度 (平成24年度)	排出量	t-CO ₂	削減率	%	排出原単位	t-CO ₂ /
目標等の達成状況及び説明						
計画期間全体の排出状況に関する説明						